

令和3年度（2021年度）職員による機能訓練実施計画

1 目的

本校のハザードは『浸水想定区域』『土砂災害警戒区域』『活断層』の3つで、生徒への防災教育が非常に重要である。防災教育のひとつである『避難訓練』を充実させるため、職員だけの図上訓練を事前に行うことで、より実践的な避難訓練ができるようにする。

2 日時

令和3年（2021年）8月31日（火）

3 場所

本校視聴覚室

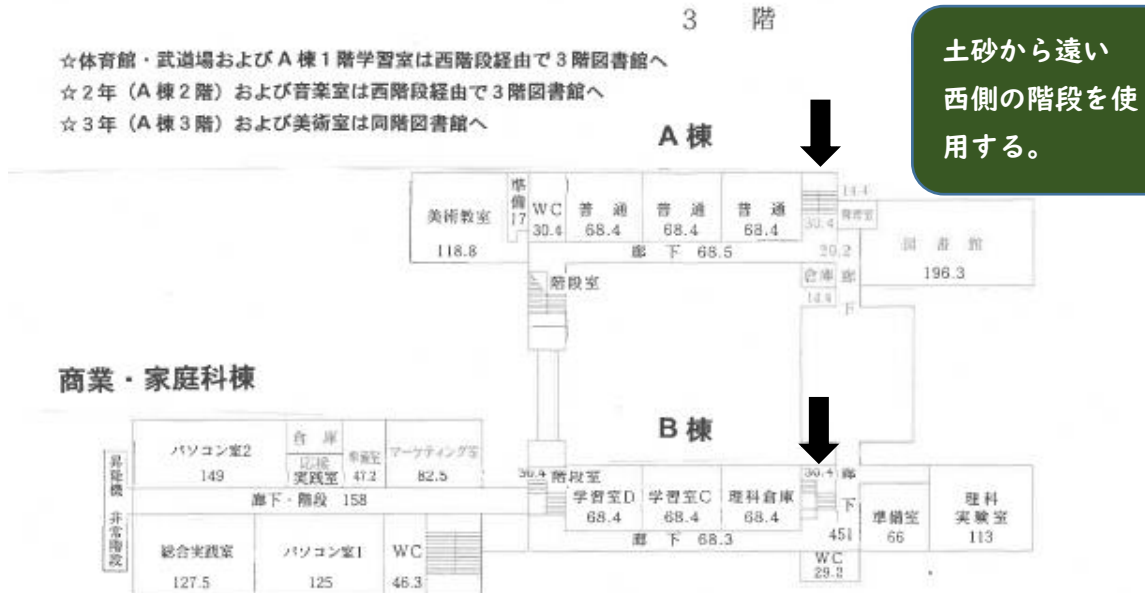
4 内容

2学期の中間考査最終日3限目に、洪水や土砂災害を想定した避難訓練（垂直避難）を実施する（分教室と合同）。そのため各職員の役割や避難経路等の確認を行う。

5 想定する災害と避難方法

大雨が降り続いたことで緑川が避難判断水位（4.10m）に到達したため、指定緊急避難場所である「ろくじ館」への水平避難は困難である。また、体育館の裏山が土砂崩れする可能性があることから、管理棟及び理科棟3階への垂直避難を行う。

6 避難経路



- ☆商業（商業・家庭科棟3階）は同棟階段にて2階へ、B棟に移動し、西階段経由で3階理科実験室へ
- ☆家庭科（商業・家庭科棟2階）はB棟に移動し、西階段経由で3階理科実験室へ
- ☆福祉教室等（B棟1階）は西階段経由で3階理科実験室へ
- ☆1年（B棟2階）は西階段経由で3階理科実験室へ
- ☆学習室等（B棟3階）は同階理科実験室へ

ただし、コロナ感染防止の観点から、以下のように避難する。

避難場所	1年1・2組→3階理科室、	1年3組→学習室C
	2年1・2組→図書室、	2年3組→3年1組教室
	3年1・2組→3年2組教室、	3年3組→3年3組教室

7 避難訓練の流れ

(1) 中間考査最終日の2限終了後、担任及び生徒は各教室で、本日の避難訓練の内容(目的及び避難経路等)を確認する。

(2) 職員及び生徒は掃除場所へ移動し、掃除を行う。

(3) 11時30分緊急避難するように放送する。

(4) それぞれの避難場所に避難する。

(5) 緊急避難の確認

ア 学年主任は、点呼前に教頭から「緊急時人員確認シート」を受け取る。

イ 整列後、担任は代議員に指示して速やかに点呼し、学年主任に報告する。

ウ 学年団の職員は、学年の後方に集合。学年主任は学年団の職員を確認する。

エ 学年主任は学年の生徒と職員の点呼結果を教頭に報告し、「緊急時人員確認シート」を提出する。その後、教頭→校長に報告する。

オ 学年団以外の職員は、各自事務長に無事を報告する。その後、事務長→教頭→校長へ報告する。

カ 避難誘導班は、逃げ遅れた生徒がいないのか確認をするため、未避難者の有無を確認する。

※管理職及び学年団以外の職員は図書室へ避難する。

※1学年主任の報告方法について

ア 停電していないとき→内線にて報告

イ 停電しているとき →スマートフォンを携帯しているとき

→スマートフォンを利用して報告

スマートフォンを携帯していないとき

→窓または通路の扉を開けて報告

(6) 全体集合後のプログラム(それぞれの場所で)

各教室へ戻り、避難訓練振り返りシートを記入する。

8 役割分担

(1) 災害対策本部【校長、教頭、事務長、防災主任】

(2) 計時(避難時間計測)【養護教諭】※放送終了後から計測する。

(3) 記録(写真)【 】

(4) 避難場所解錠(避難訓練実施後は施錠する。)

3階理科室【 】

学習室C・D【 】

9 その他

- (1) 当日は、熊本河川国道事務所、熊本県土木部河川港湾局砂防課、甲佐町くらし安全推進室、学校安全アドバイザーが来校される予定です。避難訓練実施後、管理職及び防災主任はそれぞれの方からアドバイスをいただきます。